

平成27年9月期 第1四半期決算説明会

テーマ：EC市場の構造変化を捉え、経常利益26%成長

2015年2月6日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第40回

GMO PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2015年2月6日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

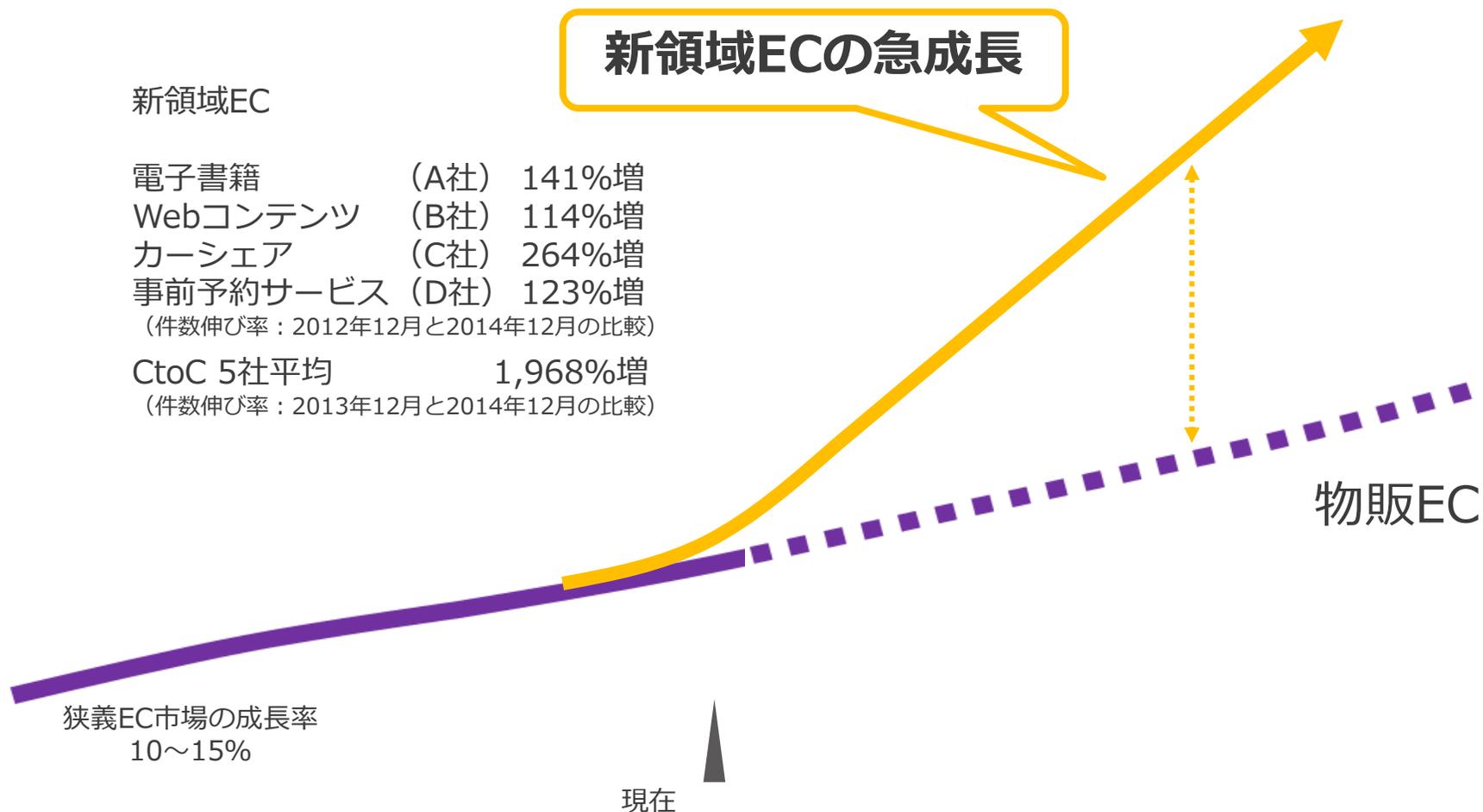
1. サマリー
2. 成長戦略
3. 財務ハイライト
4. 2015年9月期の業績予想

1.サマリー

1.1 市場の変化

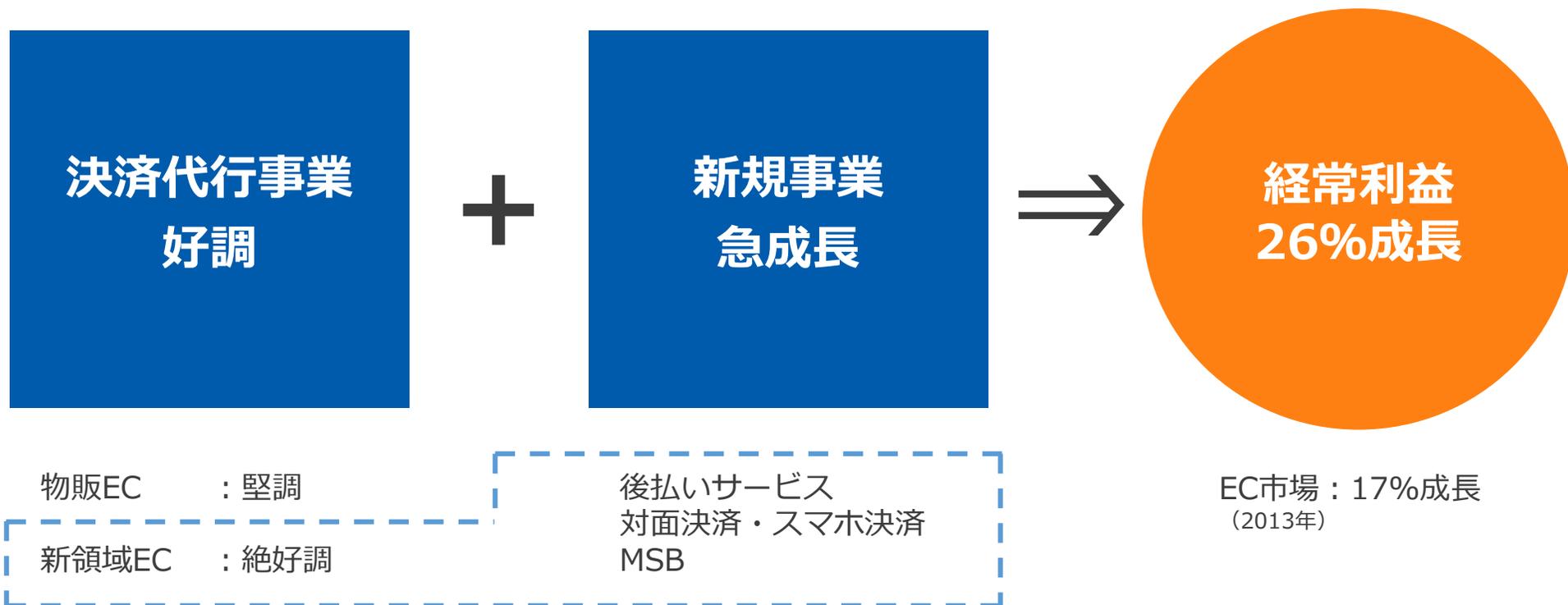
2015年のEC市場は変化の年、新領域ECが台頭

⇒物販に代わりサービスコマース・デジタルEC・CtoC が今後ECを牽引



1.2 当社業績

経常利益26%増の要因



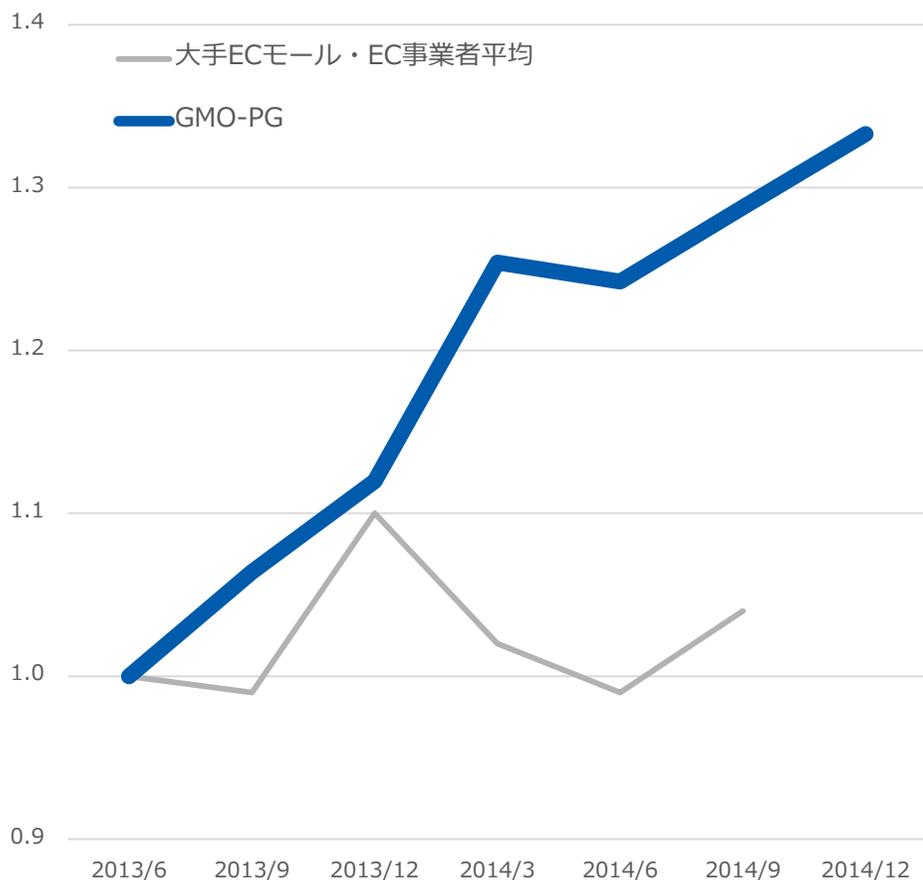
※参考：経済産業省「平成25年度電子商取引に関する市場調査」

※前年同期比の成長率

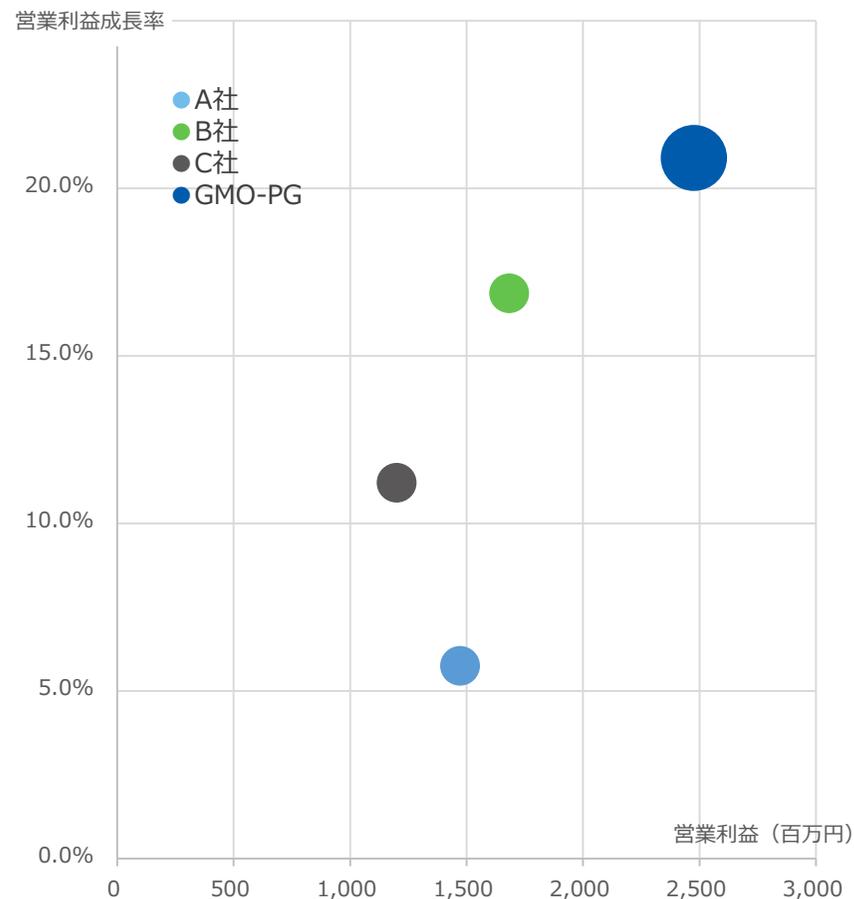
1.3 市場（他社）比較

EC関連企業及び競合他社をアウトパフォームする成長

EC関連上場企業の売上指数推移（四半期）



決済代行各社の営業利益・営業利益成長率比較（2014年度）



※当社推計

1.4 市場成長を凌駕する成長力の源泉

要因は、「システム力」「新領域への拡大」「新製品投入」

「システム力」

新領域（大量処理、低単価）を成長に取り込むためには、

- 1 膨大な決済件数と急激に増減（スパイク）するトラフィックを処理し、
- 2 安定性をもち、
- 3 低コストにてシステム増強しつづけること、が必要



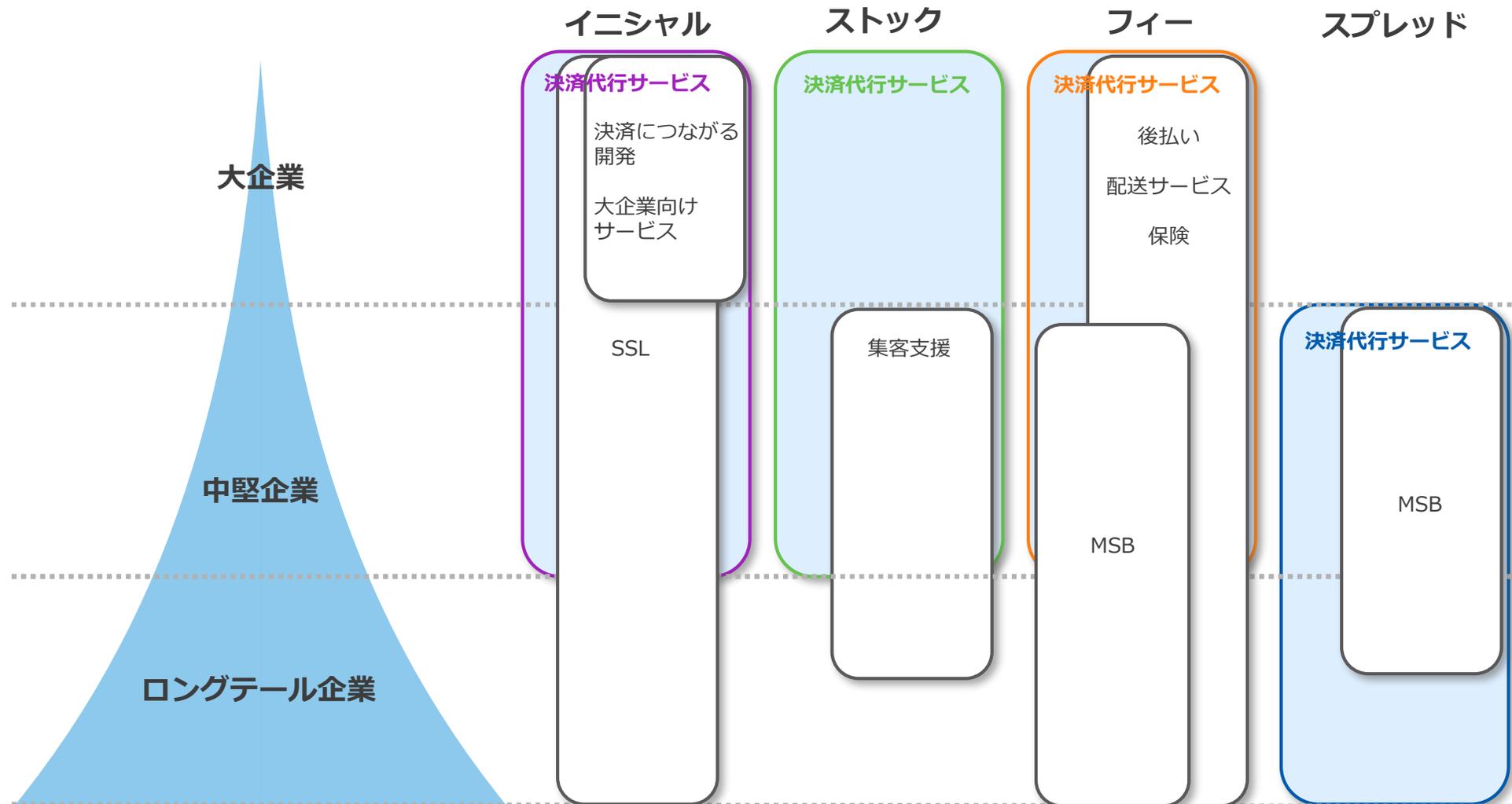
取締役副社長 磯崎（システム本部）

上記を実現する、最高水準の決済関連技術陣70名超を有する優位性

2. 成長戦略

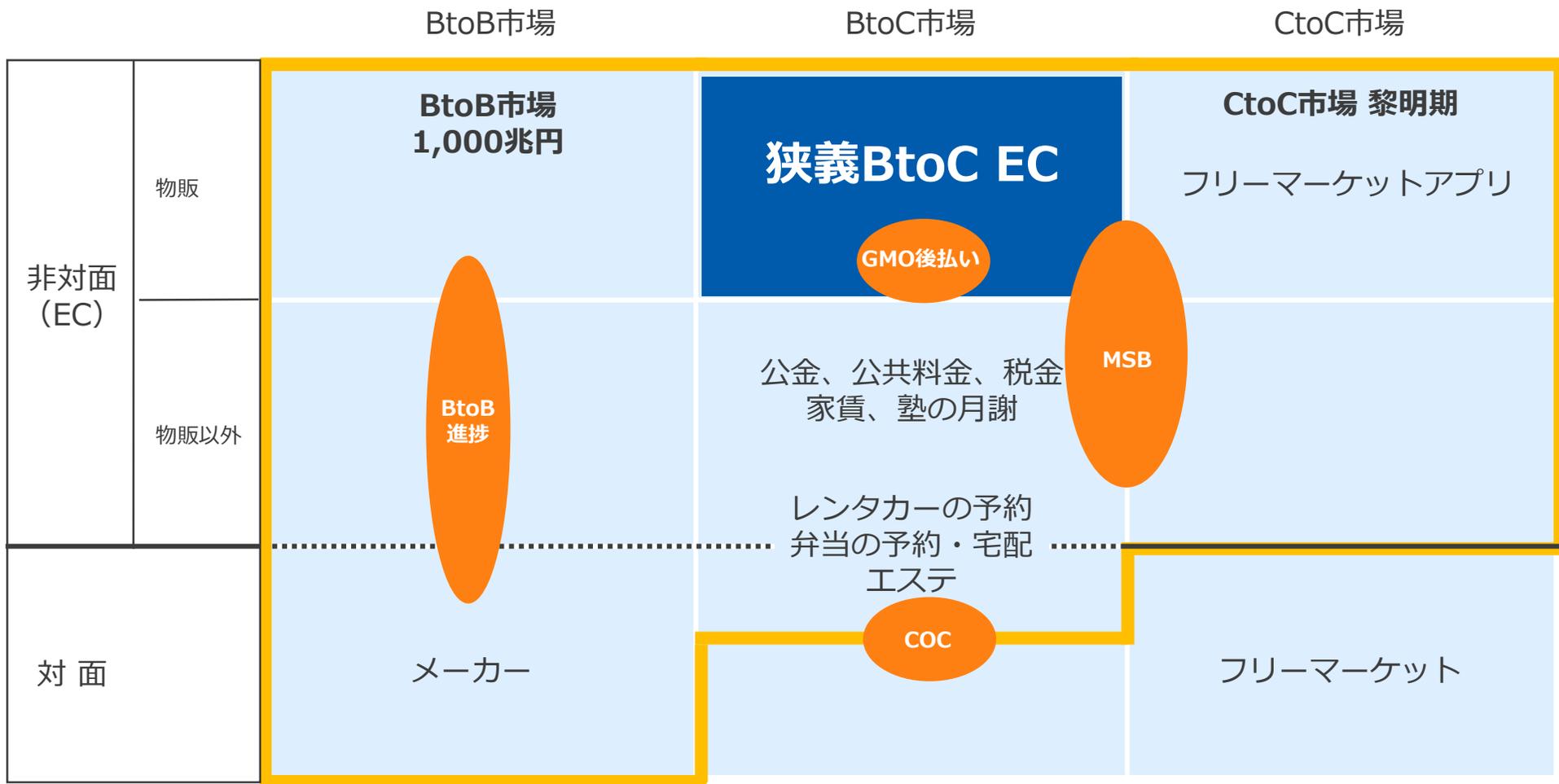
2.1 売上拡大に関するダイレクション

新製品を投入しつつ、4つの収益モデルをバランスよく伸ばす



2.2 広義EC市場への取組み

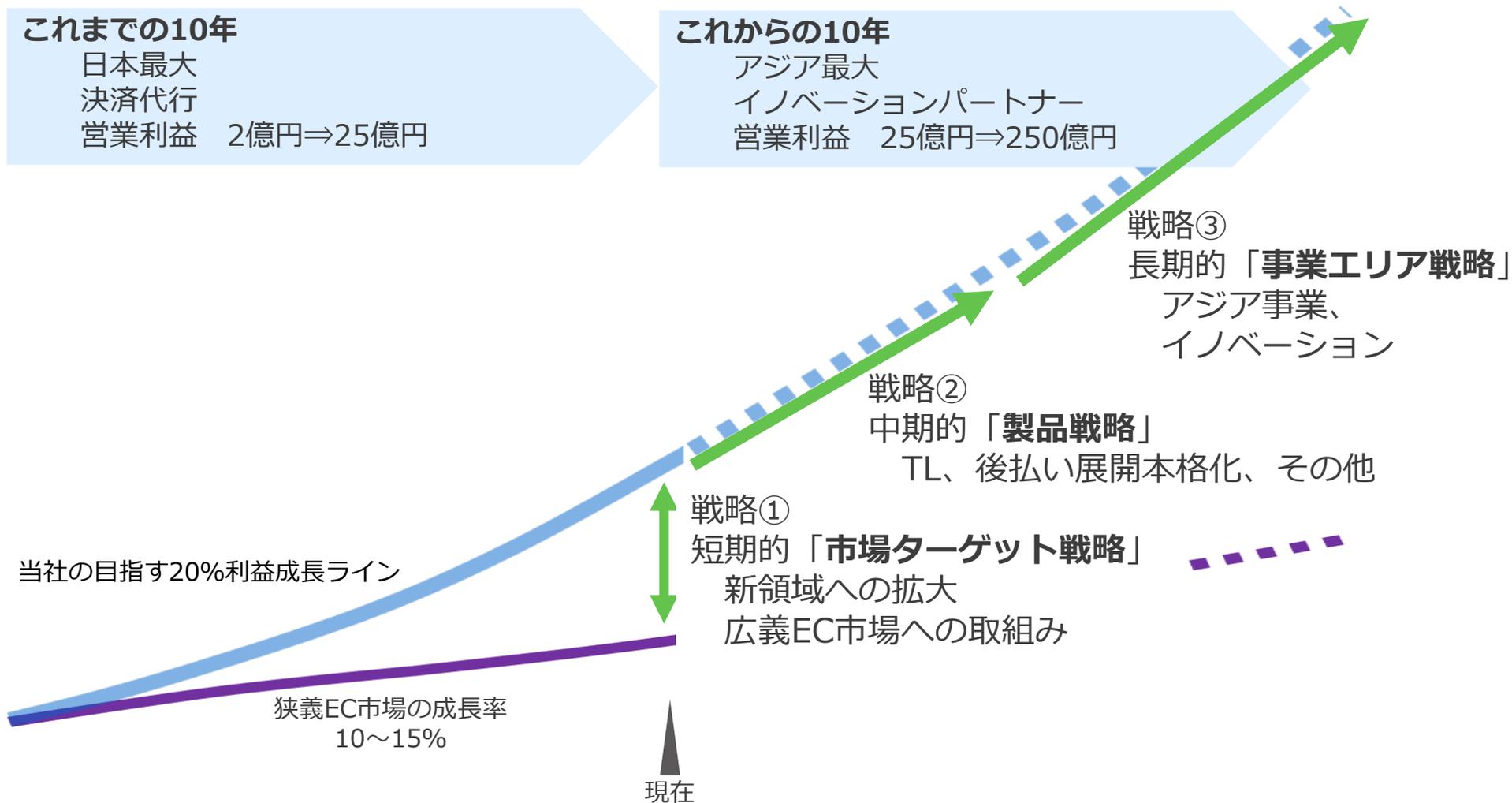
広義EC市場への取組みが進捗中、成長加速に貢献



※参考：経済産業省「平成25年度電子商取引に関する市場調査」

2.3 成長戦略

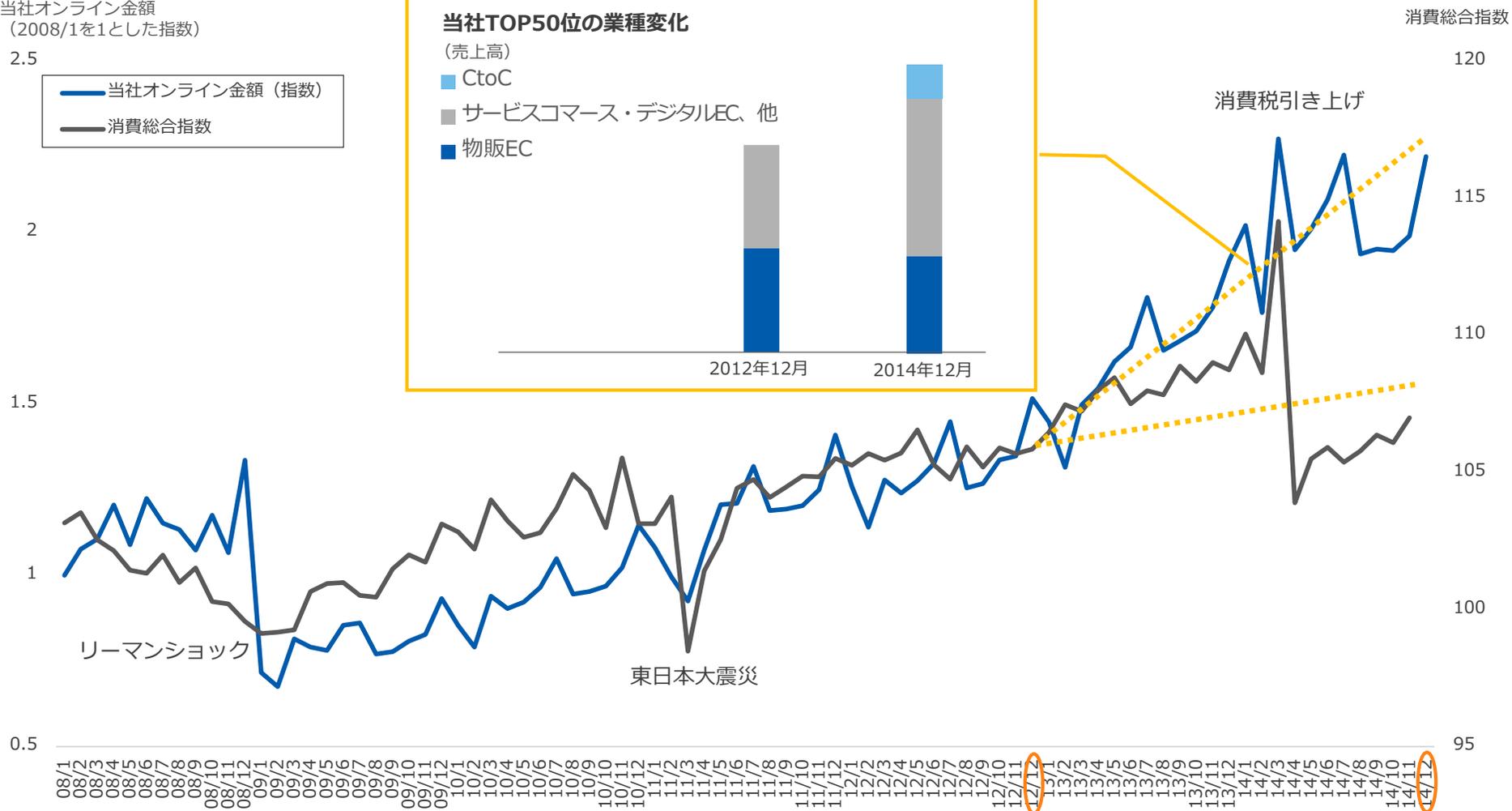
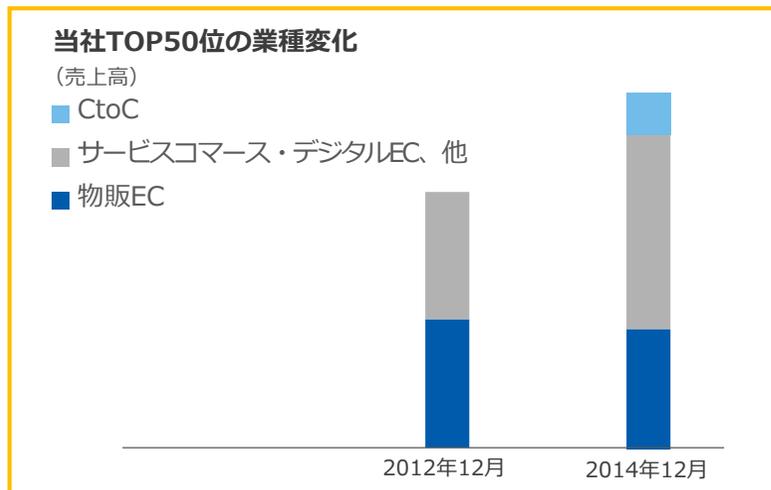
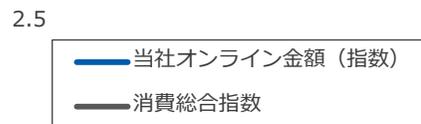
次の10年も20%の利益成長を継続するための成長戦略



2.3.1 戦略①新領域への拡大

サービスコマース・デジタルECに加え、CtoCが売上伸長に貢献

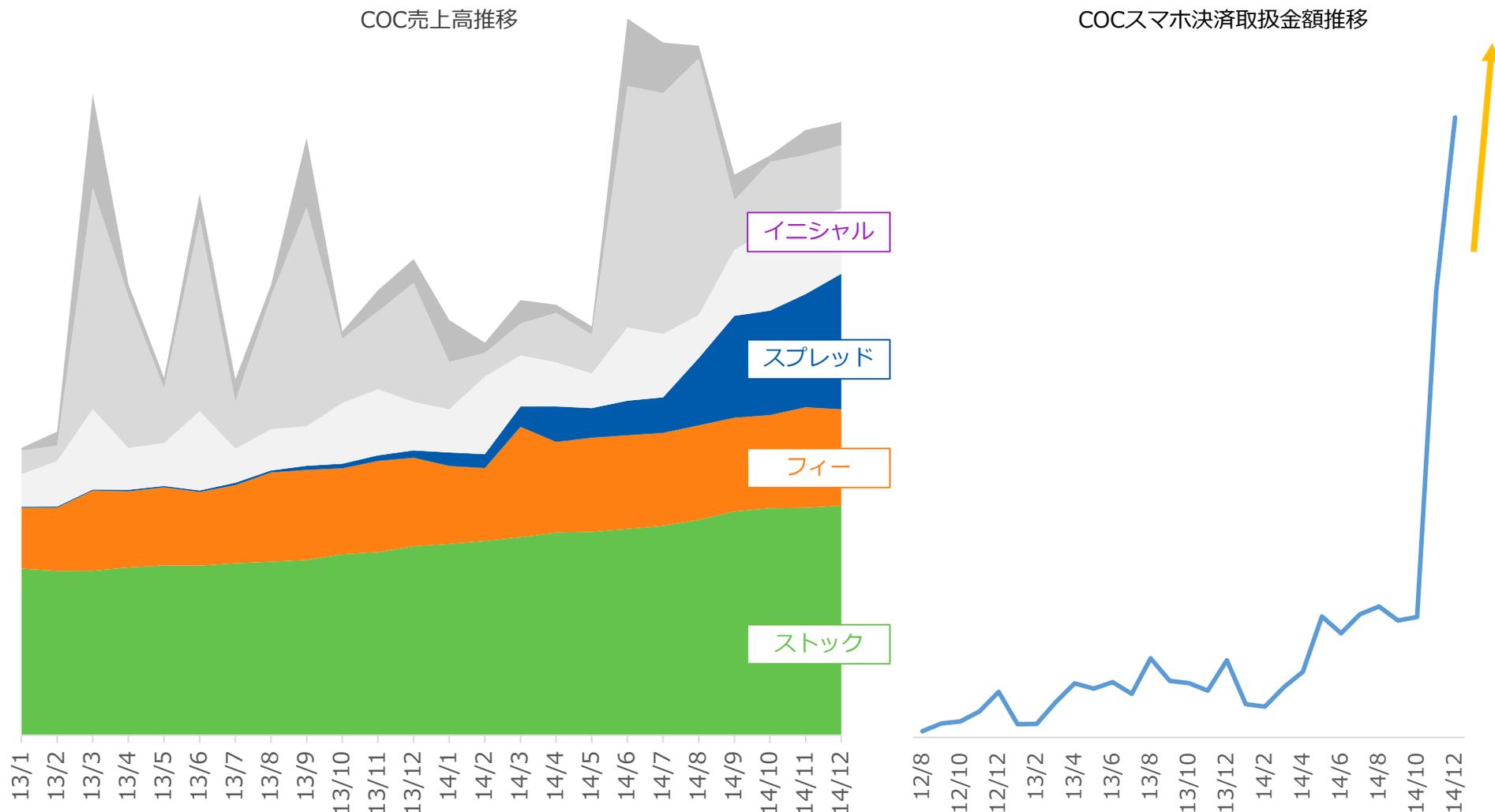
当社オンライン金額
(2008/1を1とした指数)



※参考：内閣府「月例経済報告」

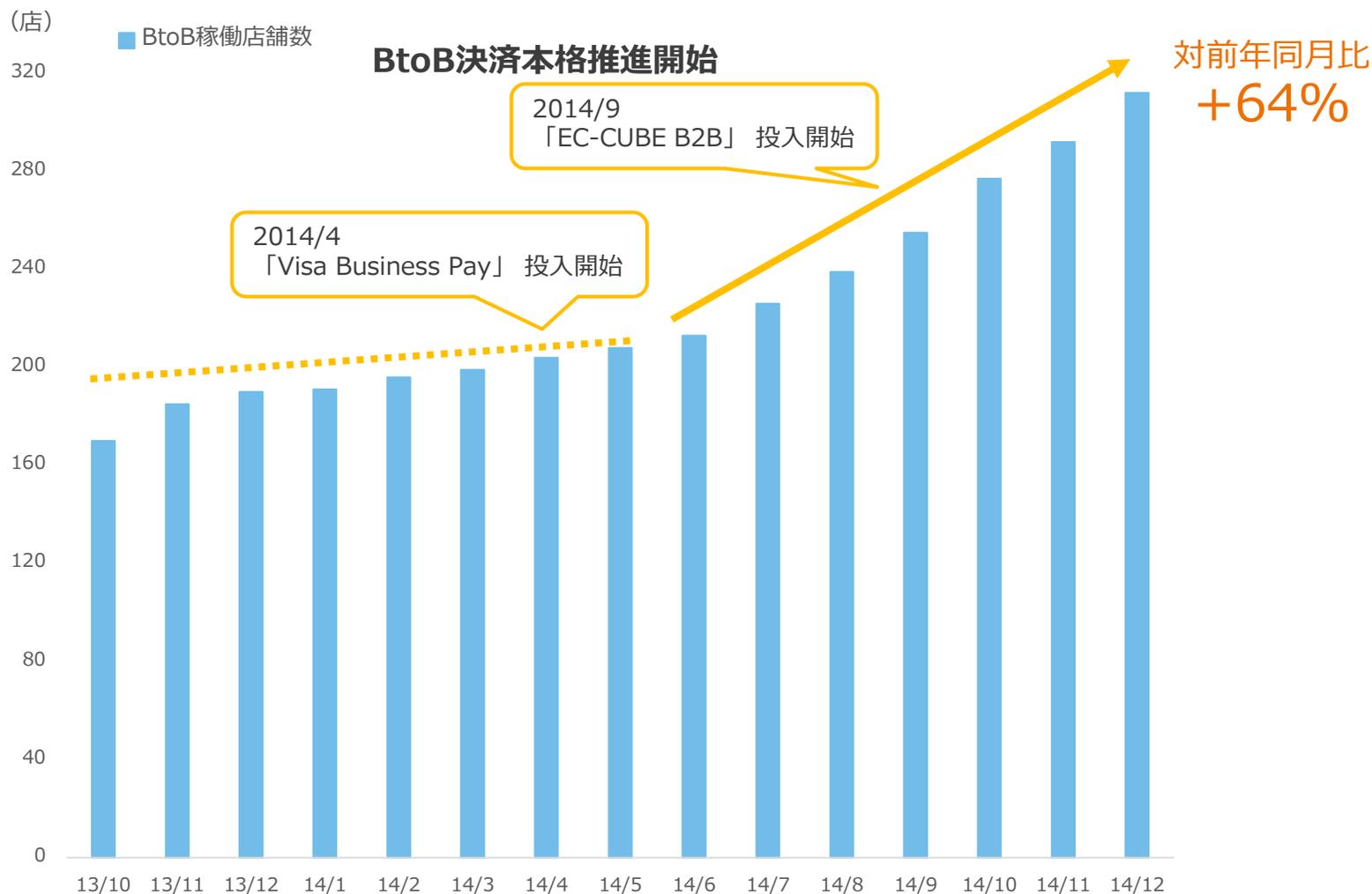
2.3.1 戦略①新領域への拡大：対面決済領域のCOC

スプレッド収益拡大、対面領域で増大するスマホ決済も担い、成長貢献開始



2.3.1 戦略①新領域への拡大：BtoB決済領域

本格的な営業推進の成果が顕在化



2.3.1 近い将来の領域

地方創生

内閣官房
まち・ひと・しごと創生法案
(2015~2019年度)
人口問題克服と成長力確保

想定される変化

地銀の経営統合
駅周辺の再開発
地域産業の付加価値向上

当社の係わり方

キャッシュレス化推進
地元企業の活性化支援
対面市場の拡大

新電力

2016年 電力小売自由化
登録数483社 (1/14現在)

電力会社を自由に選択
支払い手段の多様化ニーズ
料金精算の即時性が重要に

クレジットカード決済導入
システムベンダーとの協業

※参考：新電力PPSポータルサイト

2.3.2 戦略②新製品投入：GMO後払い

投資ステージはまだ続くも、赤字幅が縮小

GMO後払い決済件数
対前年同四半期比
22.5倍



GMO-PS売上高推移
対前年同四半期比
18.7倍

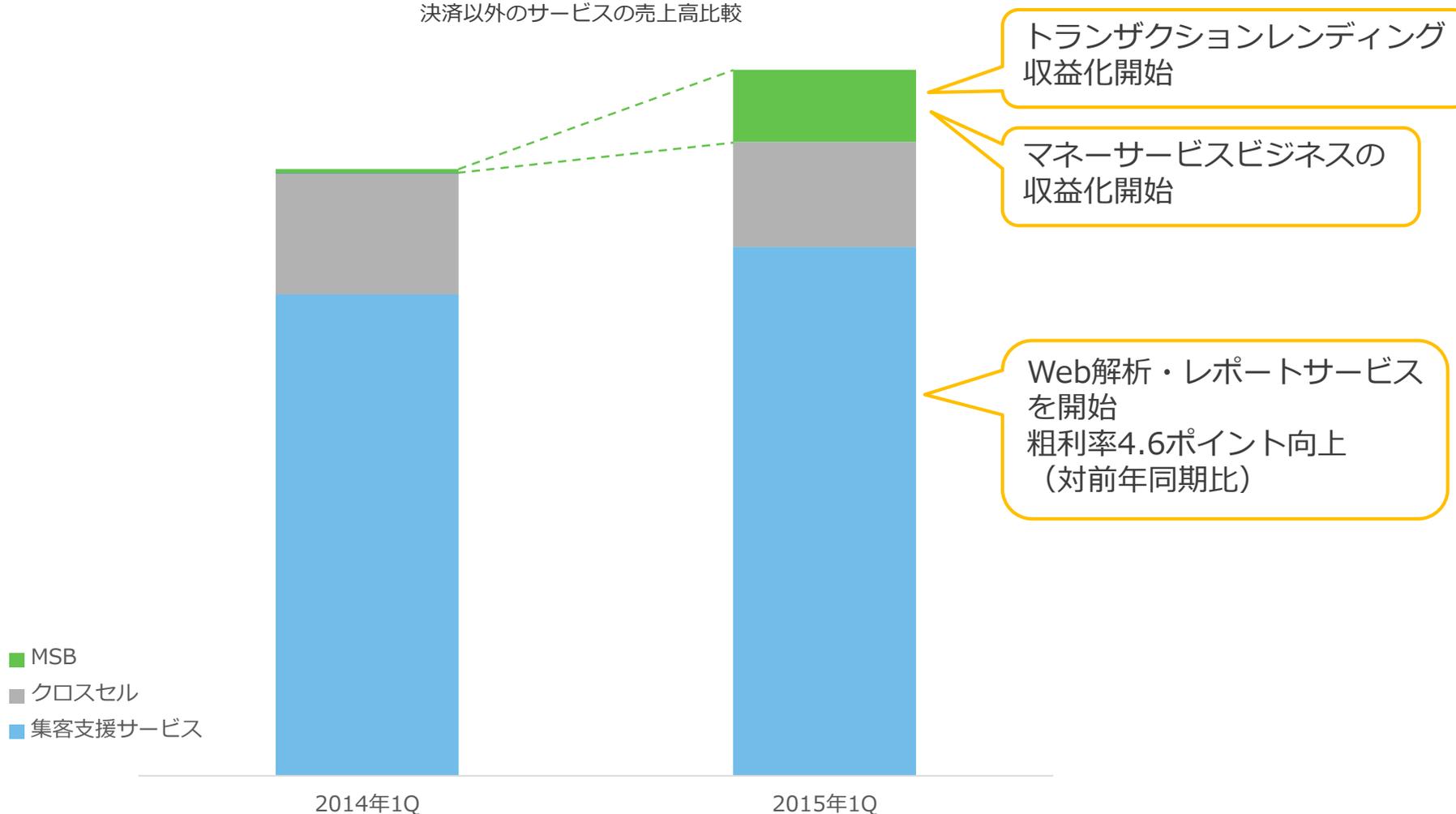


※「GMO後払い」はGMOペイメントサービス（GMO-PS）が提供しています

2.3.2 戦略②新製品投入 決済以外の進捗状況

決済以外の新たなサービスが売上成長への貢献開始

決済以外のサービスの売上高比較



2.3.3 戦略③エリア拡大：世界のグロースセンターに展開

(1) 日本の加盟店の「越境EC」支援を加速

日本の強みが活きる、
旅行市場・女性消費市場中心に展開

越境EC本格化

化粧品 ファッション・アクセサリ・デジタルコンテンツで実績

日本女明星御用

底妝讓你徹底改變
超乎想像的極致裸肌美

彩妆粉底組
TRICKY PACT
商品紹介 >

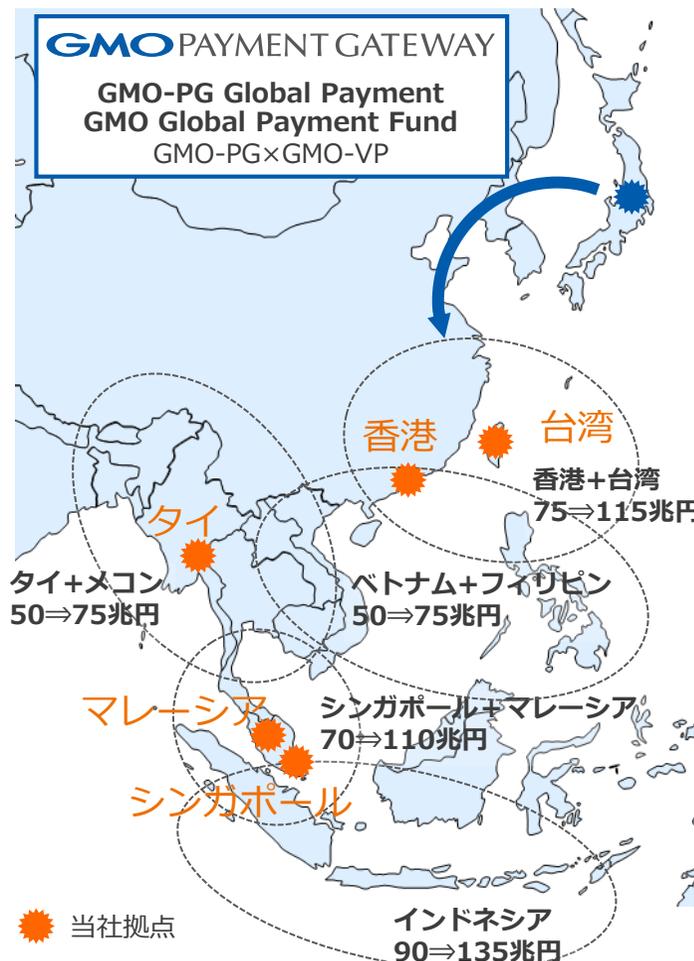


妝前粉底乳
MAKEUP BASE
FACE RESPONDER
商品紹介 >



海外旅行者2000万人時代、旅行系中心に展開

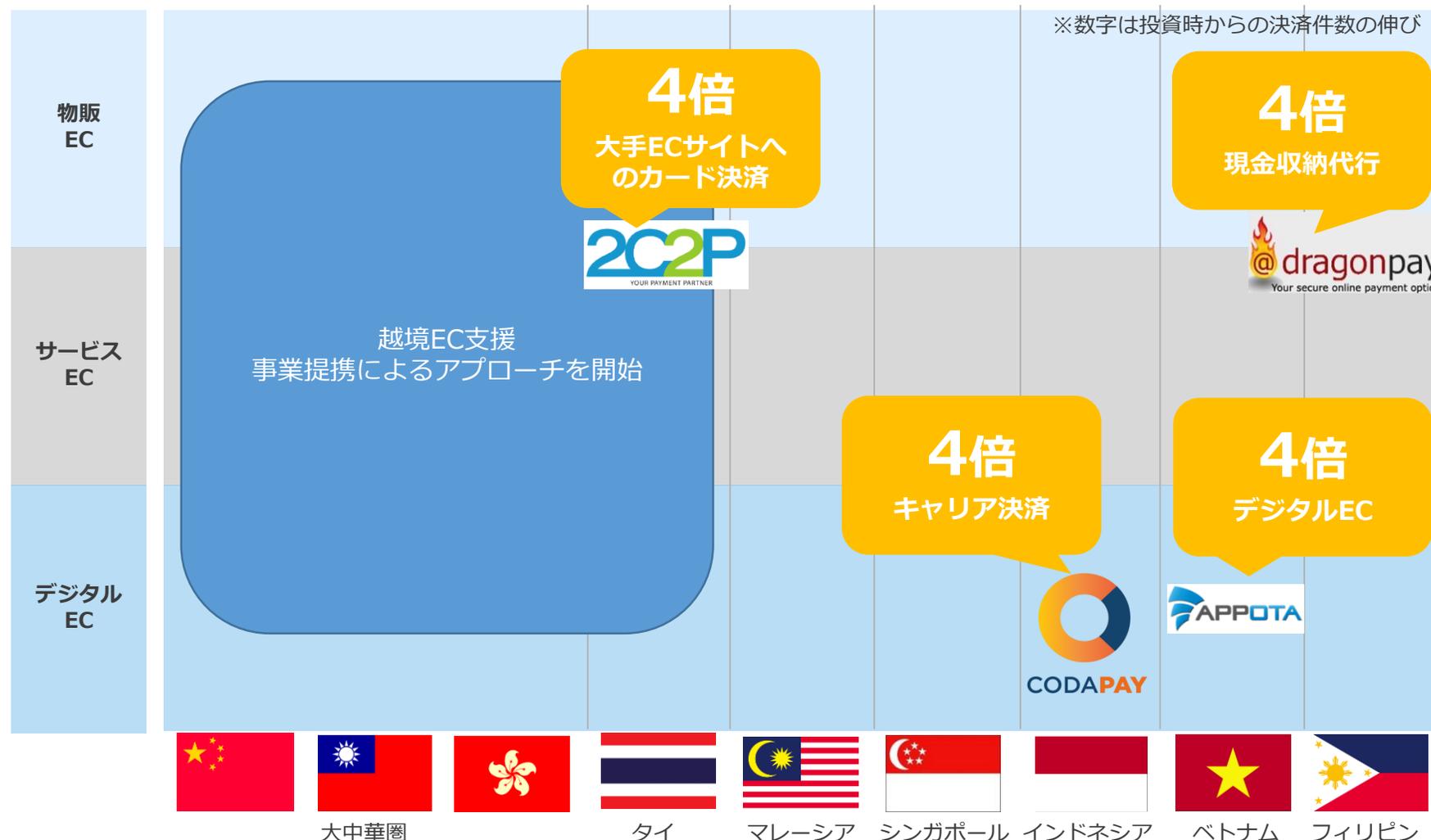
大手旅行代理店・旅行業のインバウンド、アウトバウンド施策
航空会社のインバウンド、アウトバウンド施策
決済面、集客で全面サポート



※経済圏 (当社予測)
現状GDP ⇒ 5%成長継続時の2022年GDP

2.3.3 戦略③エリア拡大：世界のグロースセンターに展開

(2) ローカル決済代行会社の支援を通じた、地域EC市場へのリーチ



3. 財務ハイライト

3.1 連結業績サマリー

営業利益25.7%増、1H計画に対する進捗度は売上49%・経常利益52%

(百万円)	15年9月期 1Q実績	対14年9月期1Q実績			対15年9月期2Q累計予想	
		実績	増減	増減率	2Q累計予想	進捗率
売上高	1,958	1,645	313	19.1%	4,033	+48.6%
売上原価	382	317	64	20.3%	-	-
売上総利益	1,576	1,327	249	18.8%	-	-
販売費及び 一般管理費	851	750	100	13.4%	-	-
営業利益	725	577	148	25.7%	1,471	+49.3%
経常利益	758	601	156	26.0%	1,473	+51.5%
純利益	476	355	120	33.9%	887	+53.7%
一株当たり 純利益 (円)	13円78銭	10.31	-	-	25.68	-

※2014/10/1付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2014/9期1Qの一株当たり純利益は、当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。

3.2 連結貸借対照表

締め・支払サイクルの多様化による影響

(百万円)	15年9月期 1Q実績	14年9月期 1Q実績	増減
流動資産	27,092	22,422	4,670
現金及び預金	23,849	20,948	2,900
前渡金	969	393	575
その他の流動資産	2,302	1,108	1,194
貸倒引当金	△28	△28	0
固定資産	2,662	1,851	810
有形固定資産	215	282	△67
無形固定資産	785	722	63
うちソフトウェア	669	543	125
投資その他の資産	1,660	846	814
うち関係会社社債	11	11	0
資産合計	29,754	24,274	5,480

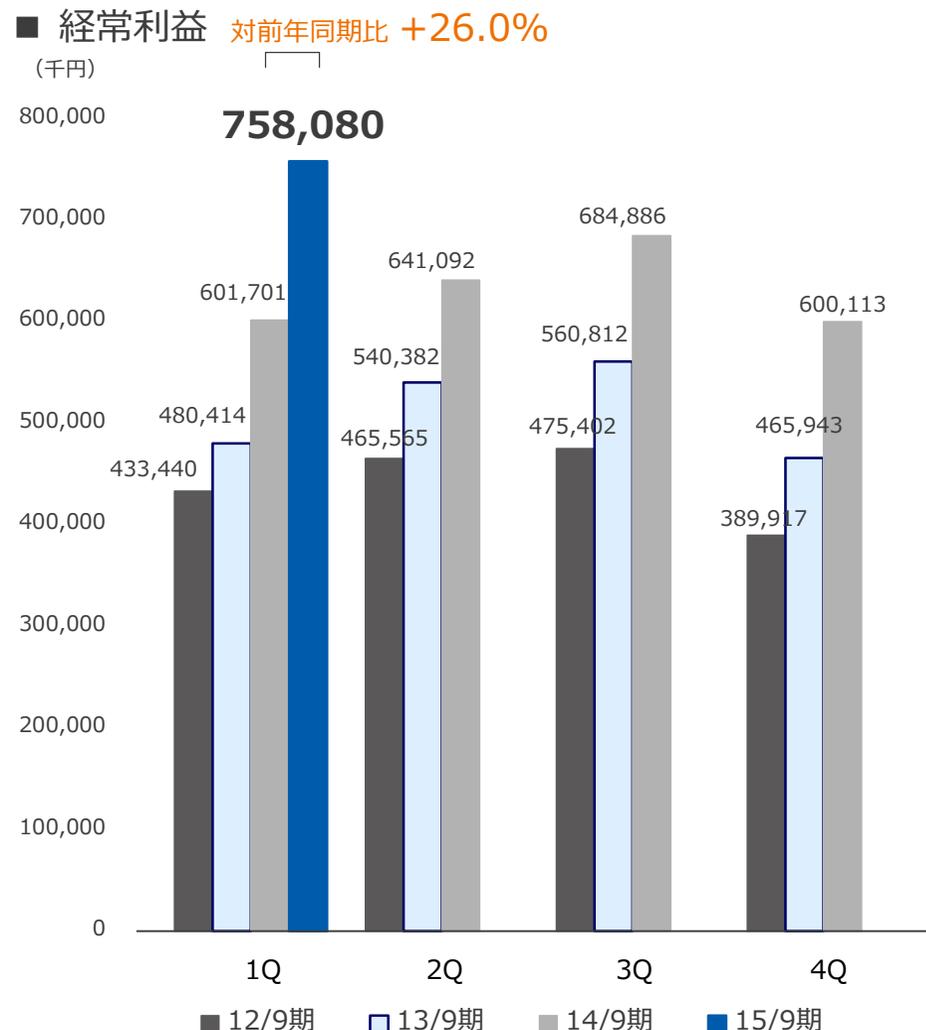
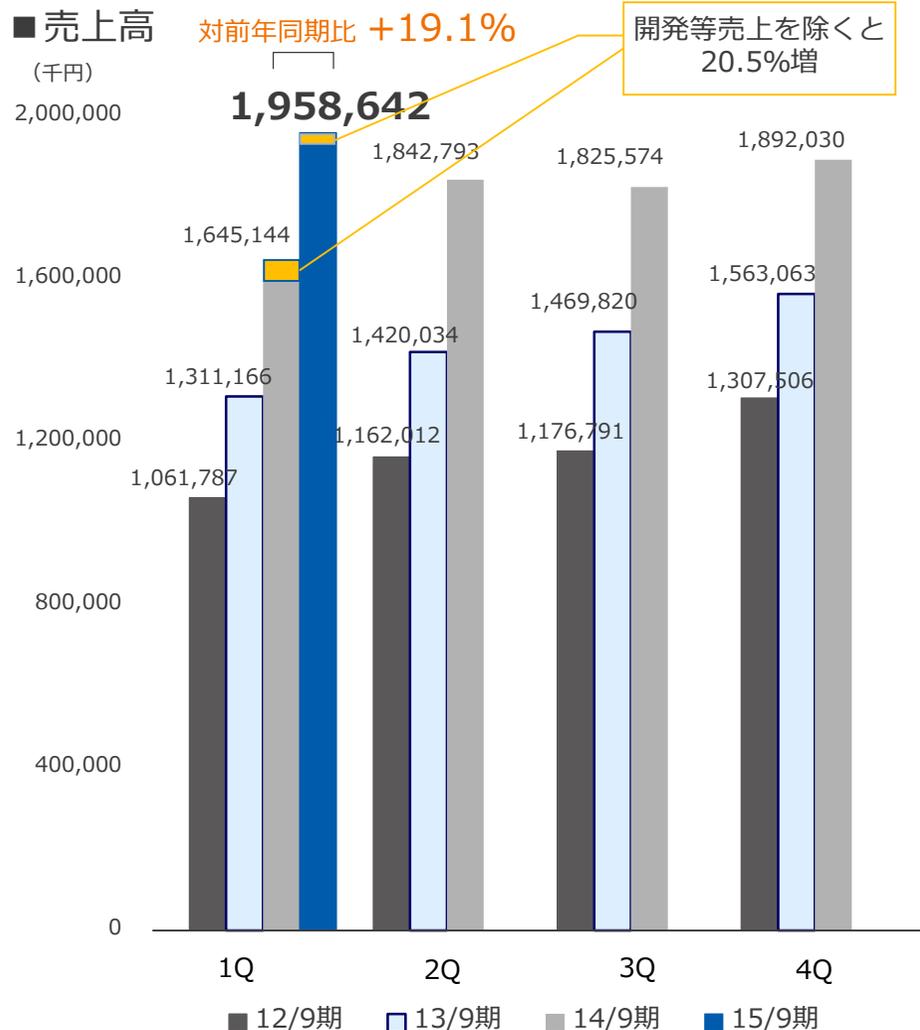
投資有価証券及びその他の関係会社有価証券の増加

(百万円)	15年9月期 1Q実績	14年9月期 1Q実績	増減
流動負債	22,775	18,525	4,249
預り金	20,822	17,575	3,246
その他の流動負債	1,953	950	1,002
固定負債	167	160	6
株主資本	6,684	5,552	1,132
その他の包括利益 累計額	120	27	93
新株予約権	3	7	△4
純資産合計	6,811	5,587	1,224
負債・純資産合計	29,754	24,274	5,480

代表加盟サービスによる加盟店の預り金
※加盟店の締め日・支払サイクルの変化により加盟店売上の増加ペースと乖離が発生

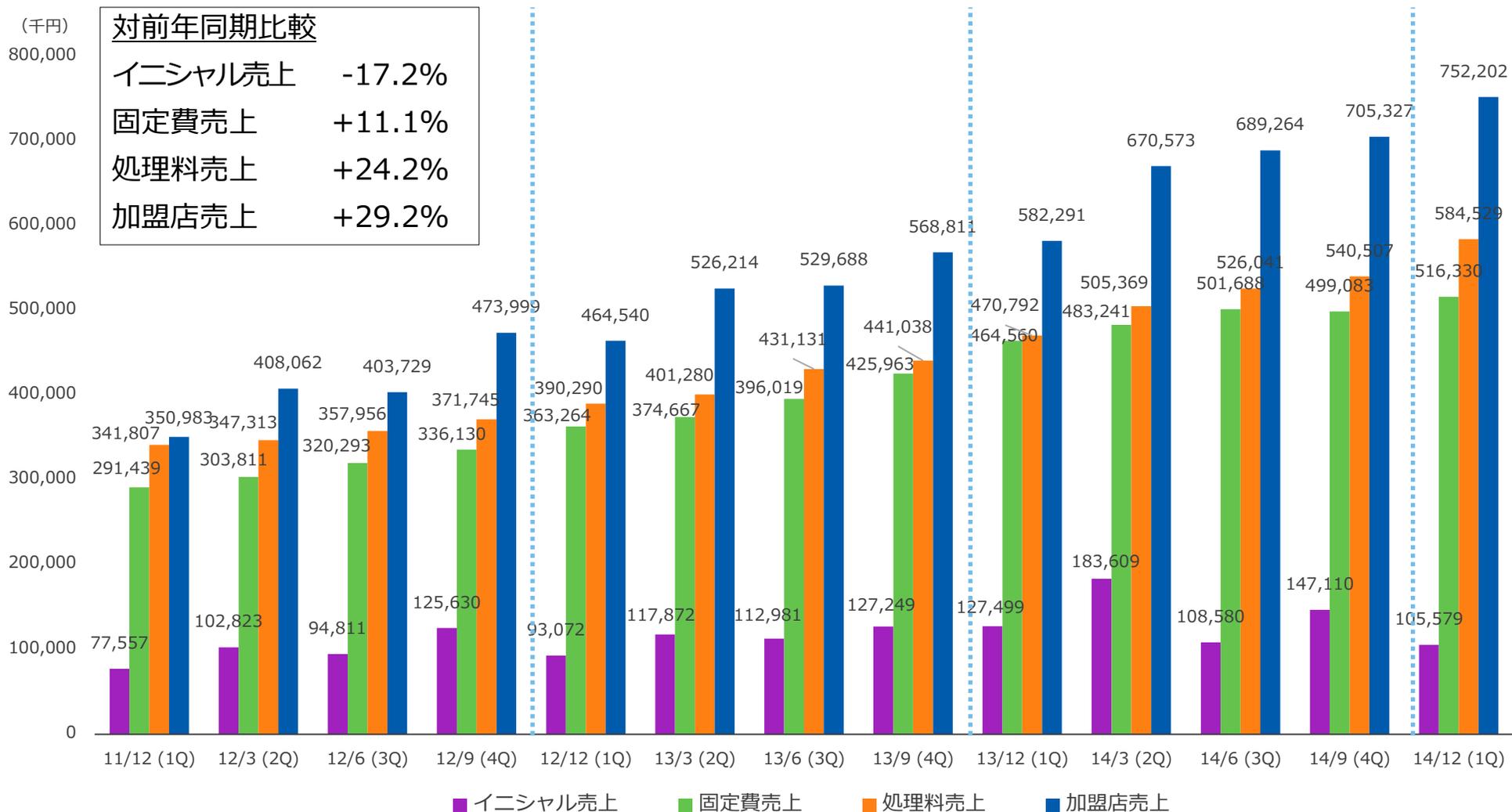
3.3 売上高・経常利益（四半期推移）

増収率を上回り、経常利益26.0%増



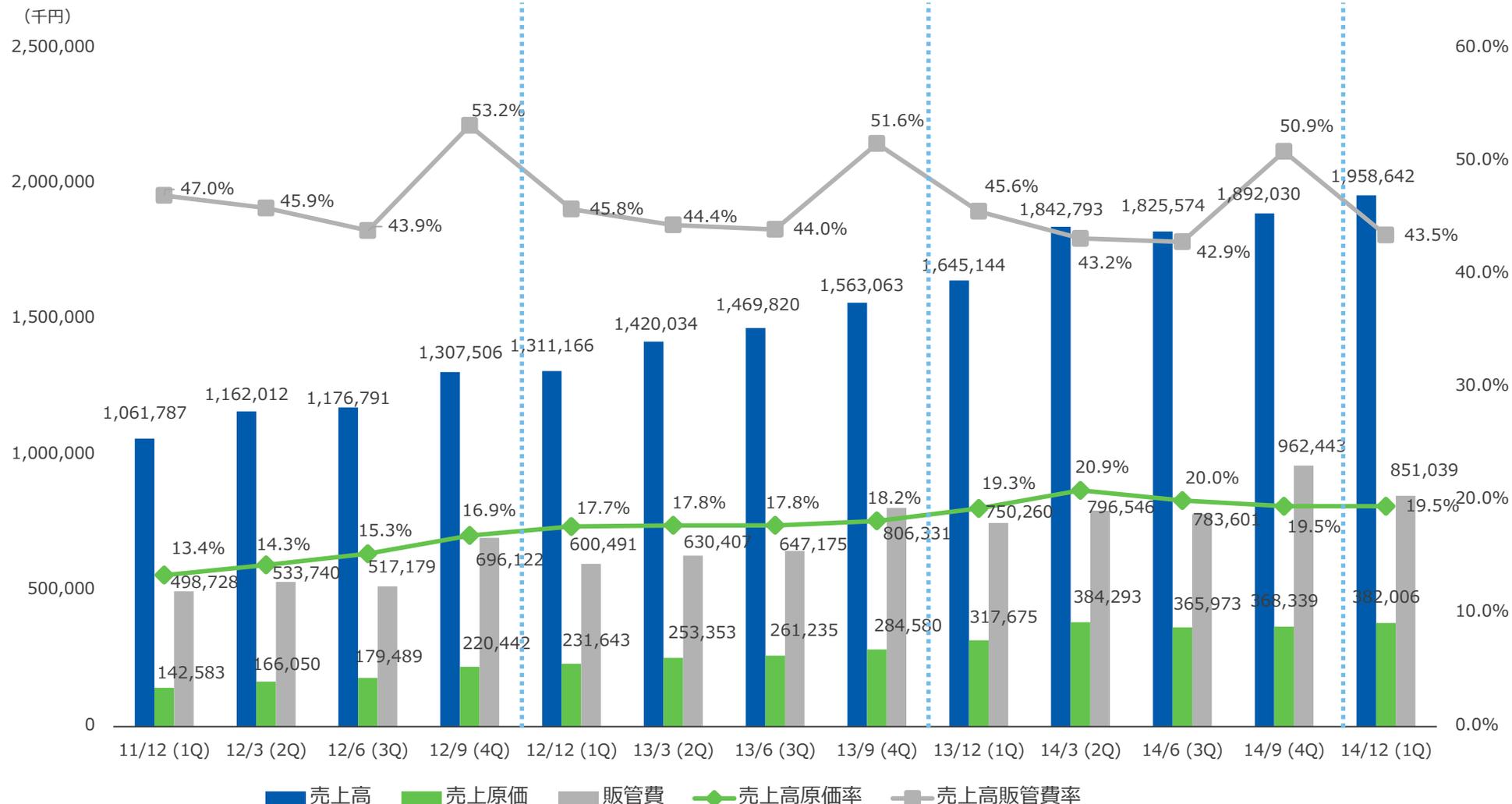
3.4 セグメント別売上（四半期推移）

市場の変化を捉え、処理料売上及び加盟店売上が好調



3.5 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

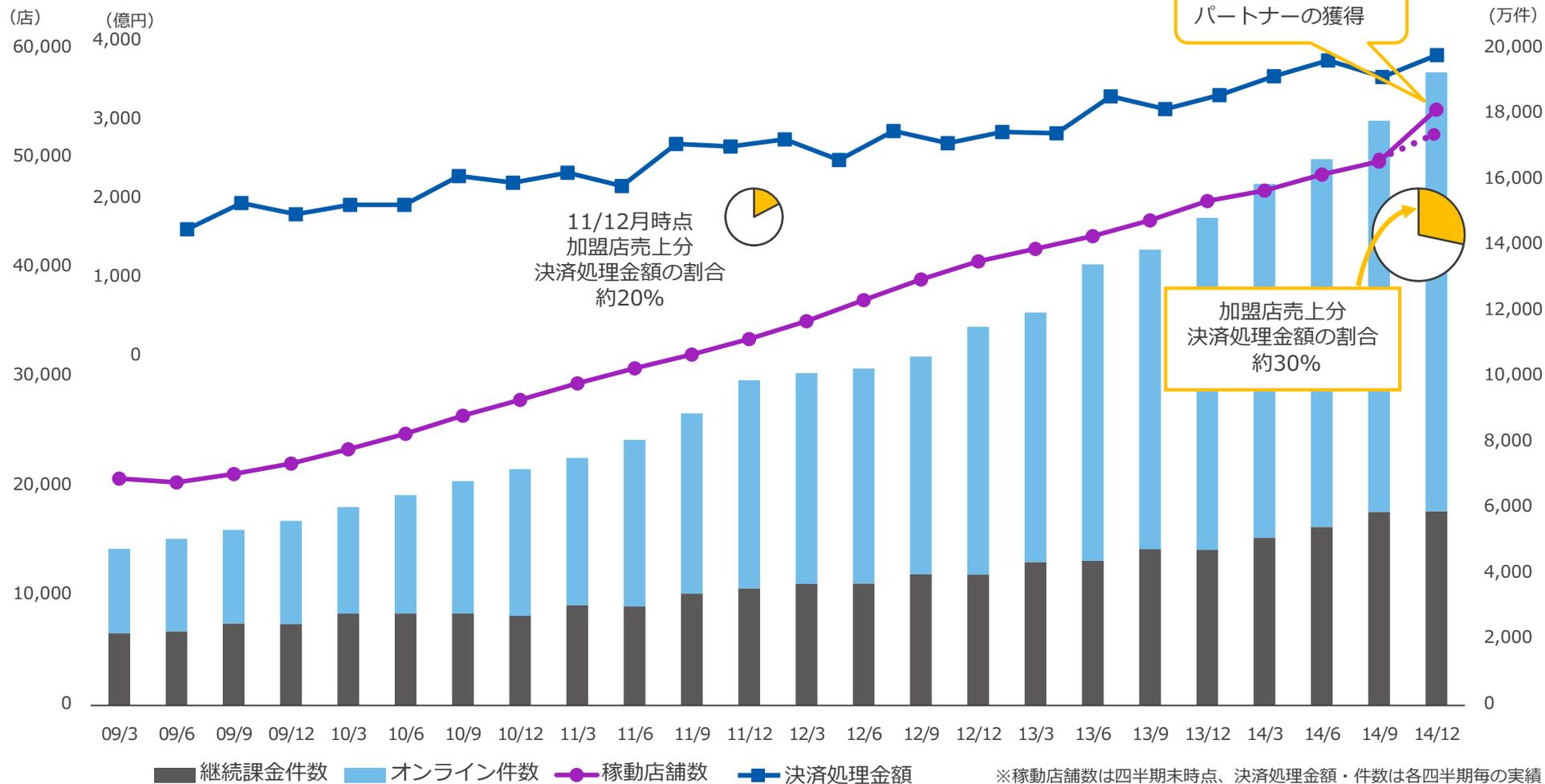
セールスマックスによる原価率上昇はDC統合効果等で吸収



3.6 主要係数推移（四半期推移）

稼働店舗数は大手案件により急増、決済処理件数も新領域により急増

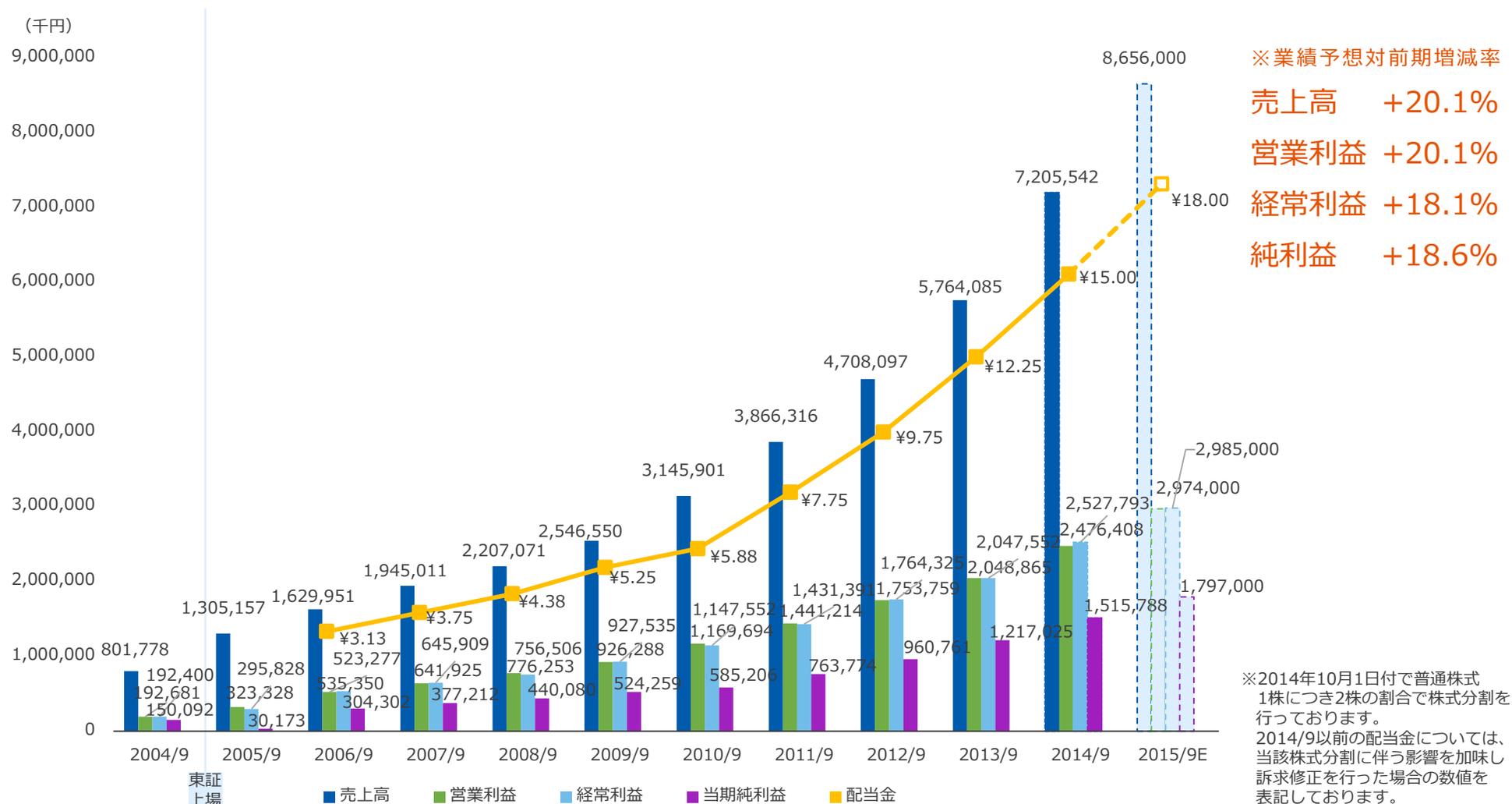
稼働店舗数 54,469店、決済処理金額 約3,800億円、決済処理件数 約1億9,200万件



4. 2015年9月期の業績予想

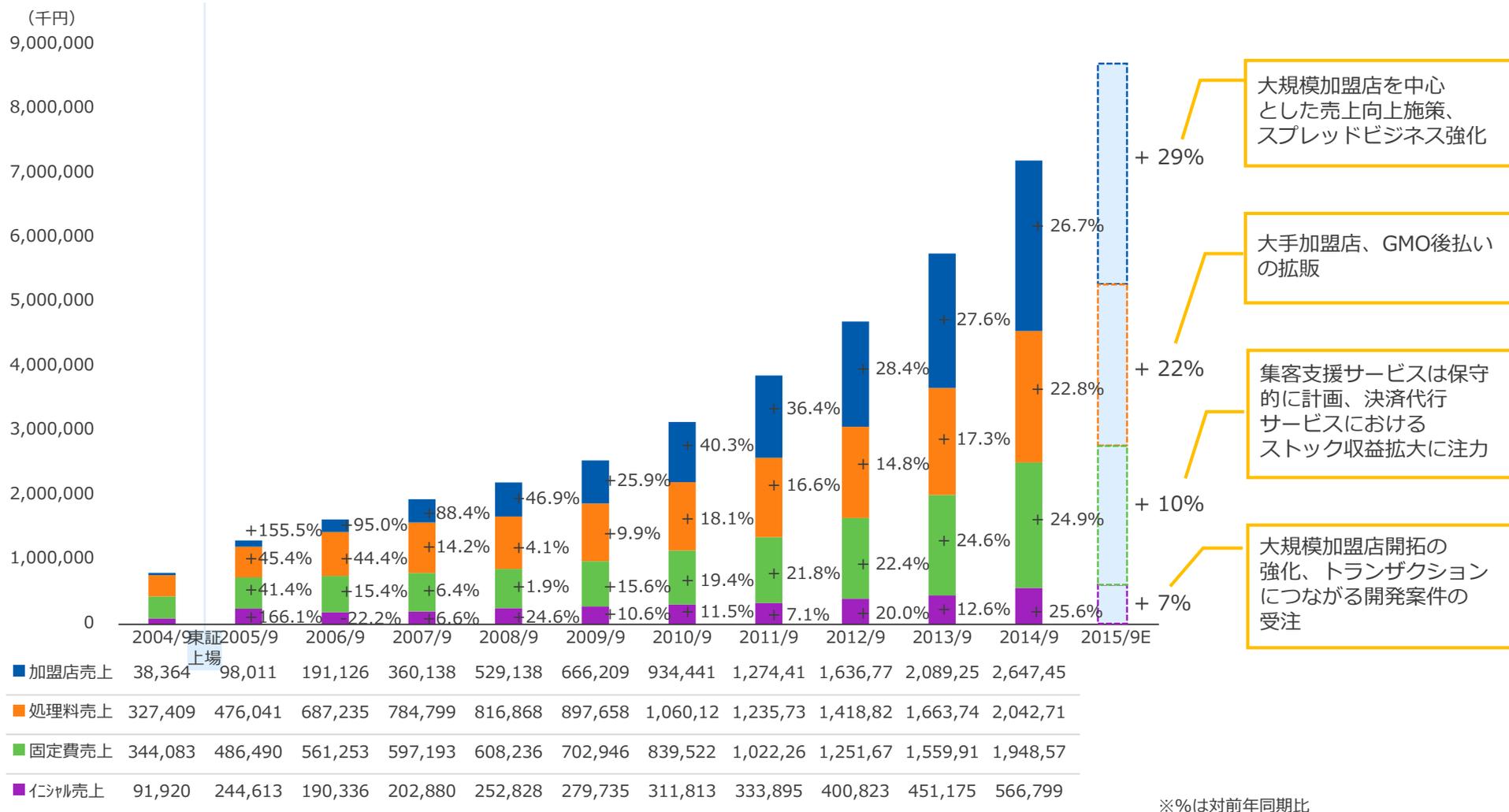
4.1 連結業績推移サマリー（2015/9期予想）

投資フェーズは更に続くため、営業利益成長率20%は据え置き



4.2 セグメント別売上（2015/9期予想）

各種施策によりバランスの取れた売上成長を目指す



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略統括本部 IR・広報グループまでご連絡ください。

IR・広報グループ TEL:03-3464-0182